

## 1. 大阪からこの国の形を変えるために

東京は「官都」。国会や官僚機構などの政府機能の集中により経済的な発展をとげてきた  
大阪は「民都」。江戸時代には経済の中心として発展してきたが、現在は地盤沈下している



東京から既存の省庁を移転するのではなく、違う発想にたって、  
新しい概念を大阪に持ってくるべき。それが「公益庁」構想

## 2. 世界では

世界では、政府でもない企業でもない第3のセクターによるフィランソロピーが大きな潮流  
単なる寄附ではなく、組織をつくり寄附をしたいところに配分するというハイブリッド型の寄附  
これまでの第1の動脈（税）ではない、第2の動脈（フィランソロピー）の活性化が必要

### **3. 副首都に「公益庁」を！**

～第2の動脈（民による公益への投資）を民都・大阪に！～

「公益庁」を大阪に誘致することで、  
第2の動脈いわゆる「フィランソロピー・キャピタル（資本）」を大阪に呼び込む

その結果、「民都」としての大阪の再生に加え、  
寄附先となる法人の評価・チェックや、投資に対するアドバイス・サポートなど、  
新たなイノベーション（産業や市場）が起こり、大阪に集積するという効果も期待できる

### **4. 2025年の万国博覧会誘致**

「高齢化社会」等をテーマに万博を誘致し、  
未来に希望をもてるような世界像を「副首都・大阪」から世界へ発信

- 「公益庁」により大阪に、世界の潮流・フィランソロピーを呼び込む
- 民の力を最大限に活かす「民都」でイノベーションを起こす
- 大阪の「副首都」化を実現し、2025年に「万国博覧会」を開催！